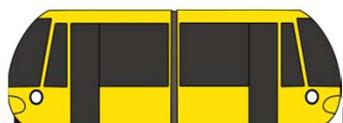




福井県のバス交通対策について



福井県内のアクセスの状況

福井県内のアクセス

福井県内の主な鉄道・バス路線図



福井県

自治体数

9市8町

面積

4,190km²

人口

77.8万人

(平成29年10月1日現在)

福井県の生活バス路線の確保・維持対策のしくみ

地域間幹線系統確保維持費補助

複数の市町にまたがる生活路線

国	県	 45%上限
不足分（市町／事業者）		
経常収益		

・乗合バスの運送事業者に対して、運行経費の収支差を補助
 ※条件 「1日3回以上の運行」「輸送量15～150人」

（例）清水グリーンライン（福井駅～清水プラント3）、丸岡線（福井駅～丸岡城）、大野線（福井駅～越前大野駅）、福浦線（田原町～かれい崎）、若狭線（敦賀駅～美浜駅）、若江線（小浜駅～近江今津駅）など

広域生活バス路線維持対策事業補助

県	市町	 45%上限
不足分（市町／事業者）		
経常収益		

（例）西安居線（福井駅～清水畑）、鶉三国線（福井駅～三国駅）、丸岡永平寺線（永平寺口駅～丸岡駅）、武生越前海岸線（越前武生駅～かれい崎）、清水西田中線（清水プラント3～天王）、清水織田線（清水プラント3～織田）など

市町生活交通維持支援事業補助

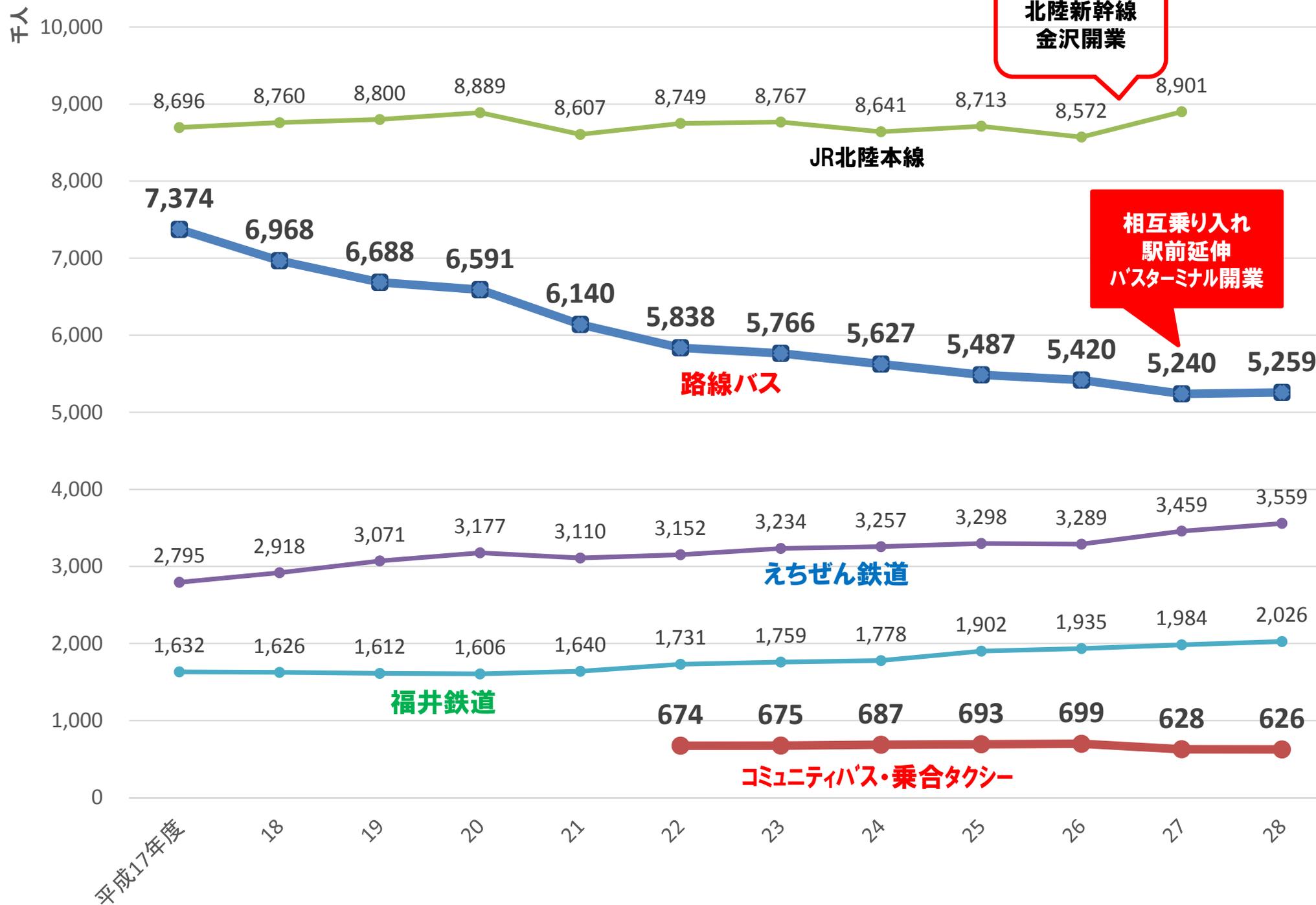
単一市町の生活路線

県	
市 町	
経常収益	

・市町が運行するコミュニティバス、乗合タクシー等（同一市町内路線）に対して、委託料等から運賃等収益を差し引いた額に対する補助

・補助率 1/2
 ただし、道路実延長に応じて市町ごとに補助限度額を設定
 5,500千円～30,250千円

福井県内のバス・鉄道の利用状況

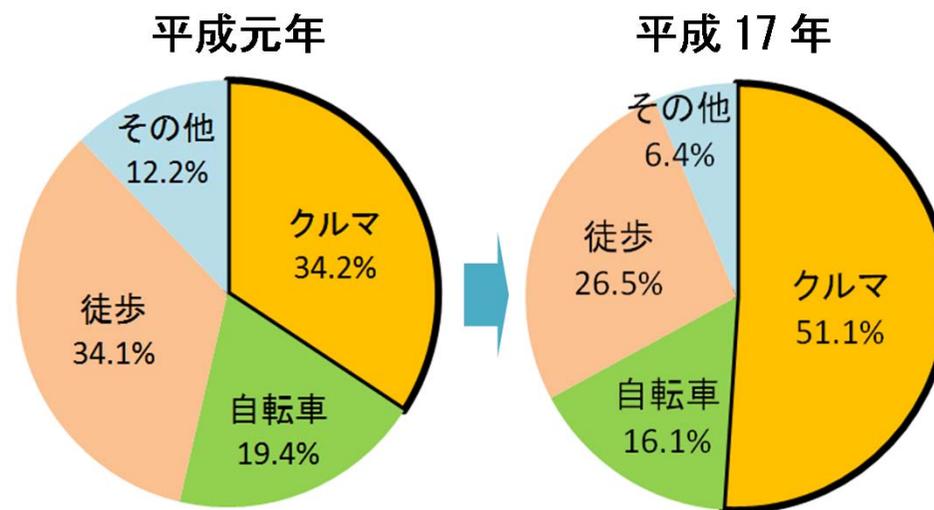


「日本一のクルマ社会・福井」の現状

マイカーの世帯当たり保有台数

順位	都道府県名	世帯当たり車保有台数
1	福井県	1.749 台
2	富山県	1.706 台
3	山形県	1.679 台
	全国平均	1.064 台

街なか3km未満の移動手段の変化(福井市)



出典：パーソントリップ調査

利用交通手段別15歳以上通勤・通学者 (国勢調査)

年	15歳以上 通勤・通学者数 人	(利用交通手段が) 「自家用車だけ」 人	(利用交通手段が) 「乗合バスだけ」 「鉄道・電車及び乗合バス」 人
平成 2年	394,816	228,992 (58.0%)	13,231 (3.4%)
平成 12年	414,179	289,557 (70.8%)	7,353 (1.8%)
平成 22年	391,554	291,772 (75.1%)	4,718 (1.2%)

公共交通の接続の強化(路線バス)



福井県高速交通開通アクション・プログラムの策定（平成28年3月）

北陸新幹線の敦賀開業や、中部縦貫自動車道の全線開通の「効果」を極力高め、県内全域に浸透させるための「県民共有の行動計画」

北陸新幹線敦賀開業の効果(例)

① 首都圏との直結

- ・福井県が首都圏と3時間で直結
福井～東京間が北陸新幹線で 約2時間50分(△34分)
- ・当面の4駅に小浜駅を含め、北陸新幹線沿線では**最多の5駅**が県内に設置
(福井駅と敦賀駅には速達型新幹線(かがやき)が停車する見込み)
- ・当面の終着駅「敦賀(福井)」の宣伝効果への期待

② 北陸三県が1時間圏内に

- ・福井、金沢、富山の3都市が北陸新幹線を軸に1時間圏内で接続

※主要都市間の移動時間

敦賀 - 福井	0:16 (現況 0:31)	福井 - 金沢	0:22
敦賀 - 金沢	0:37 (現況 1:14)	福井 - 長野	1:31
敦賀 - 富山	0:55 (現況 1:42)	福井 - 東京	2:53 (乗り換えなし)

基本戦略1 「交通の革新」による地域交通ネットワークの強化

(1) 新幹線駅の拠点機能強化と地域公共交通の革新

①新幹線4駅における交通拠点機能の強化

- 新幹線駅の駅前広場やアクセス道路を整備
- 並行在来線、地域鉄道、バスを一体的に組み合わせ、経営とサービスを強化
- 敦賀駅での新幹線とJR在来線特急、小浜線等との乗換え利便性の確保
- 新幹線駅等を拠点に市町を超える広域バスを生活圏の広域化に合わせ運行
- コミュニティバスを休日の観光地循環バスとして有効活用
- 敦賀港のクルーズ客船就航を拡大し、京阪神への周遊ルートを形成
- 日本海側最古の歴史を有する敦賀港線の活用を検討 など

②新しい技術や手法の導入

- ICカード乗車券を全県域で利用できるよう順次導入
- クルマの自動走行を京福電鉄廃線跡を活用し実証、導入拡大
- 観光客向けカーシェアリングをホテルから順次拡大

(2) 道路の多面的なネットワーク機能の強化

- 高速道路ICのアクセス道路の整備促進
- 重点道の駅を3か所(小浜市、大野市、勝山市)に整備
- 敦賀市田結地区や美浜町山上地区の産業団地を完成
- 生産拡大をめざす園芸や水産業、薬草等の研究拠点を整備
- 鞠山南地区多目的国際ターミナルのふ頭用地の整備促進 など

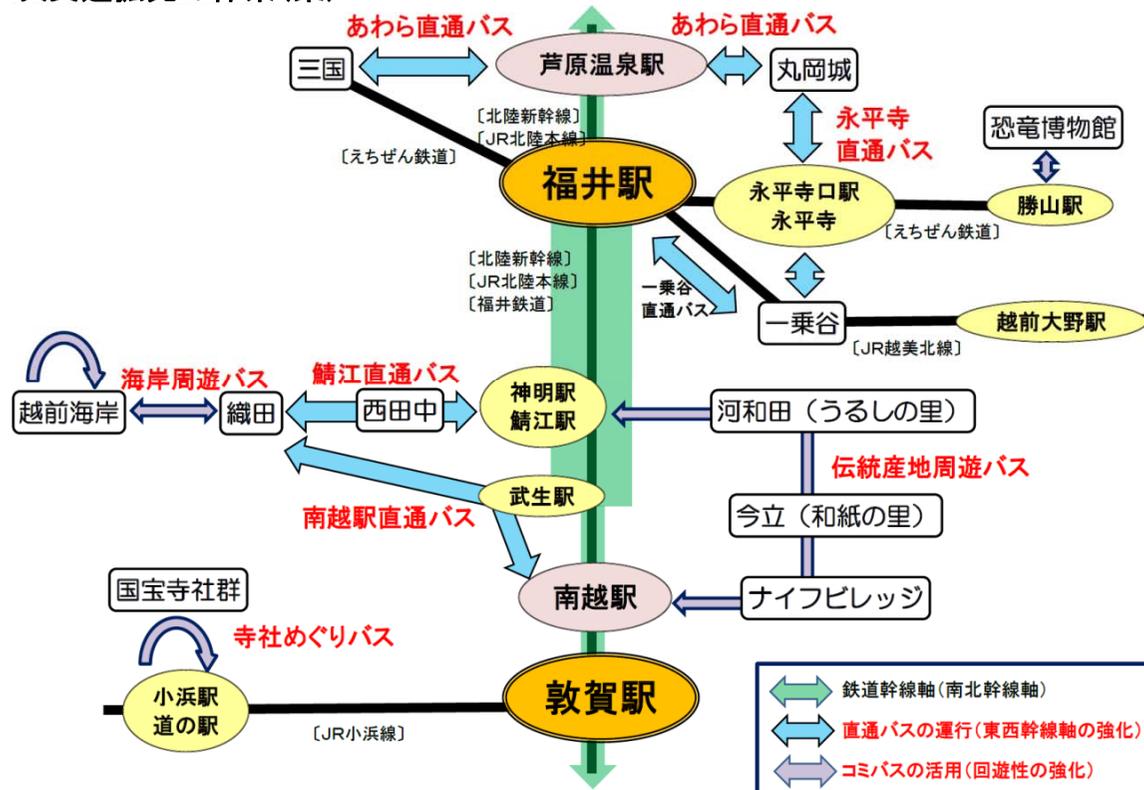
III - (1) 地域公共交通ネットワークの拡充

主体	県・市町・民間	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

これまでの成果	平成29年度以降の予定	開業までに実現を目指す施策
<ul style="list-style-type: none"> えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ〔P3再掲〕 福井鉄道福武線福井駅前線の延伸〔P3再掲〕 	<ul style="list-style-type: none"> えちぜん鉄道の高架化〔P3再掲〕 市内循環鉄道の調査〔P3再掲〕 北陸本線へのICOCAの導入(民間、~H30) 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者と鉄道が共存できる空間整備の検討 新幹線駅からの二次交通の確保

新幹線駅を中心として、JR・並行在来線、地域鉄道、バス等を一体的に組み合わせ、利便性の高い地域公共交通ネットワークを実現します。

二次交通拡充の体系(案)



今後の拡充方針

(JR・並行在来線、地域鉄道)

- ・並行在来線、地域鉄道、バスを一体的に組み合わせ、経営とサービスを強化
- ・北陸本線の第3セクター化後の新駅設置
- ・小浜線の観光利用の拡大

(路線バス、コミュニティバス)

- ・市町を超える広域バスの運行
- ・コミュニティバスを休日の観光地循環バスとして活用
- ・福井駅から主要観光地への特急バスを運行
- ・福井市のまちなか観光エリアのバスを低料金化

(その他)

- ・ICカード乗車券の導入
- ・クルマの自動走行の実証・導入拡大
- ・観光客向けカーシェアリングの拡大
- ・道路空間の再配分により、歩行者や自転車の快適な利用環境を確保

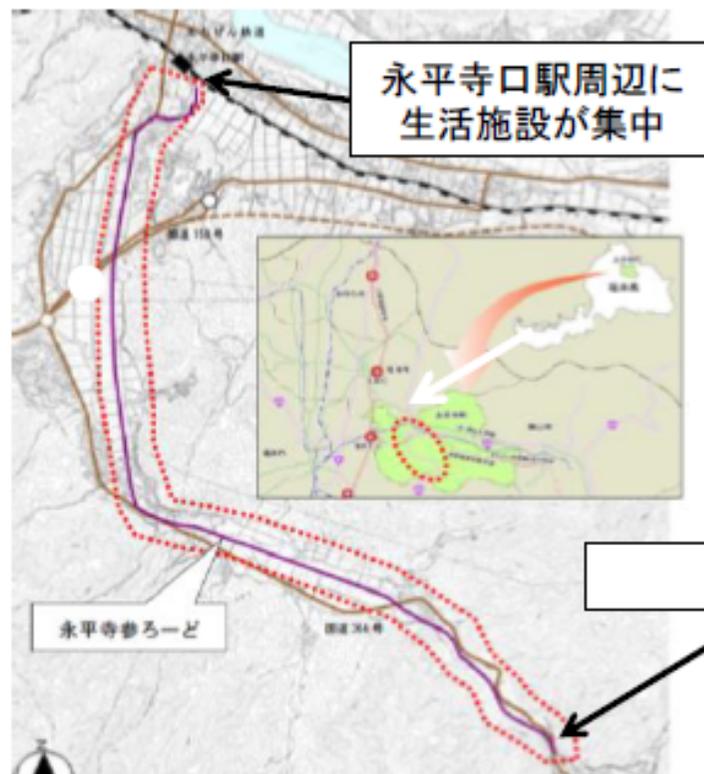
②【過疎地モデル】福井県永平寺町（小型カート利用） ＜駅から住居地、観光施設の往復、住民と観光客の併用＞

1. 地域概況



- ・概況：永平寺を中心とした観光地・過疎地域
- ・人口：2,697人
- ・高齢化率：27.5 %
- ・観光客数：581,262人
（うち外国人観光客数：10,754人）

2. 走行ルート



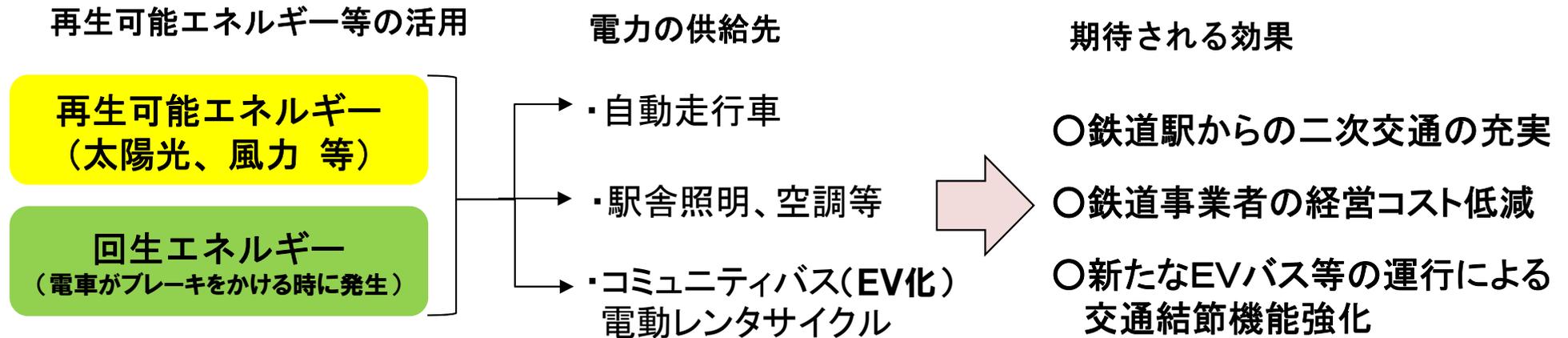
3. 走行地域イメージ



※ルートや走行地域イメージは未確定

- 永平寺口駅と永平寺を結ぶルート。現在遊歩道として利用している廃線跡地を実証コースとして想定。
- 朝晩は通勤通学者の永平寺口駅への移動手段として、日中は観光客の永平寺への移動手段として利用されることを想定。

交通機関への再生可能エネルギー活用事業



(1) 鉄道駅の交通結節機能強化

鉄道駅周辺に再生可能エネルギー設備を導入し、駅を中心とした交通結節機能を強化
(パイロット事業として、えちぜん鉄道永平寺口駅で実施)

(2) 他駅への導入可能性調査

将来の並行在来線や地域鉄道の駅施設等への導入を検討するため、想定される設置場所や発電量を調査

